

# 内野小だより

令和3年7月

浜松市立内野小学校



## 「命について考える日」(6月12日)

6月12日は、浜松市の「命について考える日」です。今から9年前(平成24年)にいじめが原因で市内の中学生の尊い命が失われました。その悲しい出来事を二度と繰り返さないよう、決して忘れないようにこの日を「命について考える日」としました。これは、我が子の亡くなった日に「命」や「いじめ」についてもう一度しっかりと考えてほしいという御両親の願いでもあります。市内の全小中学校では、毎年この日を基準にいじめを防止し、命の尊さを見つめ直すための様々な取り組みをしています。

内野小学校では、10日(木)に「命」や「いじめ」について、教師の読み聞かせを聞き、感想を書いたり、学級で話し合ったりし、命の大切さを改めて確認しました。

また、14日(月)の全校朝会では、私が、子供たちに「全国いじめ防止標語コンテスト」の入賞作品を紹介し、「いじめ0(ゼロ)」について語り掛けました。

### 「ないんだよ あなたの言葉を 消す道具」 (2016年度 入選作品)

一度発した言葉は、どんなことがあっても消えません。言った本人は冗談や軽い気持ちで言ったとしても、言われた人の心を傷つけます。だから内野小では「ふわふわ言葉」でいっぱいになろうと全校で取り組んでいるのです。

### 「見てるだけ そんな自分は 昨日まで」 (2018年度 入選作品)

目の前で友達が嫌なことをされていて、「このくらいなら…」とか「遊びだから…」と、そのままにしてしまったことはありませんか。そんな気持ちでは、決していじめはなくなりません。

そして、話の最後に「内野小学校でも『いじめ0(ゼロ)の標語』を考えよう。」と子供たちに投げ掛け、校長室の前に記入用紙と応募箱を用意しました。するとどうでしょう。次の休み時間から、早速子供たちが来てくれ、「どんな言葉がいいだろう」と標語を考えてくれました。いじめられている人を思って作った言葉やいじめる側の人に伝えたい言葉など、数日で100を超える作品が投函されました。6年生の女子(本人の希望により匿名にします)は、「校長先生、これ。」といじめについての作文を書いて校長室に届けてくれました。自分にできることは何かを考え、取り組んだ彼女の行動力を褒め、私はその作文を受け取りました。



休み時間にたくさんの子が校長室に来て、標語を書いてくれました。

内野小の子供たちは、みんなが「いじめははよくない」「いじめのない学校にしたい」という思いを持っています。その思いを大切に育て、「ふわふわ言葉」が溢れ、みんなが毎日元気に登校できる学校を保護者や地域の皆様と力を合わせて作っていきます。引き続き御支援と御協力をお願いいたします。

最後に6年生の女の子が届けてくれた作文の一部を紹介します。

(前略)

……いじめられている子に気づかず、手をかしてあげられなかった。私は、そんな自分が大きらいだった。私と同じような子もいると思う。

だから・・・、今まで気づいてあげられなかった分、手を差し伸べてあげて。それがいじめじゃなかったとしてもはずかしくない。手を差し伸べたことに自信をもってほしい。

きっと、毎日笑える日がやって来る。笑える未来がやって来る。

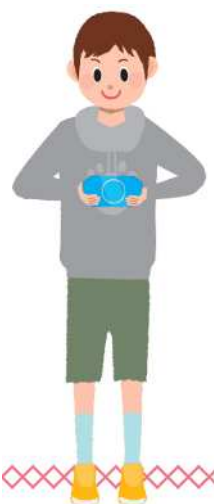
校長 川村 寿満

## ネット依存とは…

7月21日(水)から、夏休みが始まります。夏休みには、子供たちがインターネットを使用する時間が長くなると言われています。

ところで、子供たちが、どれくらいの時間、インターネットを使用しているか知っていますか？少し前のデータになりますが、内閣府が作成した「平成29年度青少年のインターネット利用環境実態調査報告書」には、平日のインターネットの平均的な利用時間について、「2時間以上」インターネットを使っていると回答した割合は小学生では33.4%であると記載されています。夏休みには、この割合を上回ることが予想されます。

コンピュータを使ってネットゲームやチャットなどを長時間行うことが習慣となってやめられなくなり、他の人に迷惑をかけてしまう状態を「ネット依存」と呼びます。心理学者のヤングは、以下8項目すべてに該当する者を「インターネット中毒」、5項目以上を「インターネット依存」とみなしています。ぜひ、お子さんと一緒にチェックをしてみてください。



1. 自分がインターネットに心を奪われていると感じるか？
2. インターネットでより多くの時間を費やさなければ満足できないか？
3. インターネットの使用に関して、自制しようとか、やめようとか、使用時間を短くしようと何度も努力しながら、うまくいかなかった経験があるか？
4. インターネットの使用を控えよう、あるいはやめようと試みているとき、気分が落ち着かなかったり、機嫌が悪くなったり、イライラしたりしたか？
5. 最初に考えていたよりも、長時間インターネットをして過ごしてしまうか？
6. 大切な人間関係や仕事をインターネットのせいで失いそうになったことがあるか？
7. インターネットにどれだけ傾倒しているかについて、家族やセラピストなどに嘘をついたことがあるか？
8. 現実の問題から逃避したり、落ち込んだ気分を盛り上げたりする目的でインターネットを使うか？